

ホルモン受容体陽性 HER2 陰性進行転移乳癌における CDK4/6 阻害薬による治療実態に関する多機関共同観察研究

1. 研究の対象

- ・ホルモン受容体陽性 HER2 陰性進行転移乳癌と診断されている方
- ・2019年1月1日から2021年12月31日までに、当院で、進行転移乳癌としての最初もしくは二つ目の治療(一次もしくは二次治療)として CDK4/6 阻害薬*が開始された方。

*CDK4/6 阻害薬には、パルボシクリブ(イブランス®)とアベマシクリブ(ベージニオ®)があります。

2. 研究目的・方法

実際に行われた治療経過のデータを用いて、ホルモン受容体陽性 HER2 陰性進行転移乳癌において一次もしくは二次治療として CDK4/6 阻害薬(パルボシクリブまたはアベマシクリブ)を用いた薬物療法を行った症例の治療実態を把握することで、よりよい治療戦略開発のための問題点を明らかにすることを本研究の目的としています。

本研究では、対象となる患者様の実際の診療で得られ電子カルテなどに保存された治療経過や検査に関するデータを用いて、主に治療の有効性に関する項目を検討します。

なお、もっとも重視する評価項目は、治療開始から抗がん剤開始までの期間です。

利用するデータは2023年6月30日までのデータとなり、研究期間は、研究機関の長の許可日から2024年12月31日までです。

利用又は提供を開始する予定日：[2023年8月31日]

3. 研究に用いる情報の種類

生年月日、身長、体重、PS、閉経状況、就業の有無及び就業内容、間質性肺炎の既往の有無、gBRCA1/2 病的バリエーションの有無(該当する場合のみ)、がん遺伝子パネル検査結果(該当する場合のみ)、転移部位、血液検査所見、病理的所見、手術(手術日・術式)、CDK4/6 阻害薬の投与量、CDK4/6 阻害薬の投与開始日・終了日、CDK4/6 阻害薬の終了理由、併用内分泌療法の種類、CDK4/6 阻害薬以外の治療歴、転帰等

4. 外部への試料・情報の提供

一般社団法人 JBCRG データセンターへデータを提供します。データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究の資金源および研究に係る利益相反

本研究は、JBCRGと日本イーライリリー株式会社との共同研究契約により、日本イーライリリー株式会社からの資金提供を受けて実施しています。担当医師が個人的に利益を受けることはなく、この研究の実施や報告にあたり、個人や組織の利益のために公正な判断を曲げるようなことは一切ありません。

研究を行うときにその研究を行う組織あるいは個人（以下「研究者」という。）が特定の企業から研究費・資金などの提供を受けていると、その企業に有利となるように研究者が研究結果を改ざんあるいは解釈したり、また都合の悪い研究結果を無視するのではないかという疑いが生じます。（こうした状態を「利益相反」といいます。）

この研究における利益相反は、大阪大学大学院医学系研究科・医学部臨床研究利益相反審査委員会による審査を受け、承認を得ています。我々はその審査結果に基づき、利益相反を適正に管理して研究を行います。

6. 研究組織

一般社団法人JBCRG

代表理事：

増田 慎三（京都大学大学院医学研究科 外科学講座 乳腺外科学）

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町9-4-3F

（詳細は一般社団法人JBCRG公式ホームページ URL <https://jbcrg.jp/> に記載）

日本イーライリリー株式会社（共同研究組織）

研究代表者

吉波哲大 大阪大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科

共同研究機関及び研究責任者

JBCRG-C10_オプトアウト_別紙1（共同研究機関及び研究責任者一覧） 参照

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

富山大学附属病院 消化器・腫瘍・総合外科 講師 松井恒志（研究責任者）

住所：[〒930-0194 富山県富山市杉谷]

電話：[076-434-7331]

研究代表者：

大阪大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科 吉波哲大